

活動報告書

団体名：相模原こもれび

活動場所	木もれびの森活動地		記録者	平野 和夫
活動日時	令和5年1月14日（土） 9時00分～11時00分		天気	曇りのち雨
参加者	安達、伊藤、小俣、開沼、川口、北村、黒岩、白川、園田、中尾、西原、平野 深澤、藤井、本田、松浦、目黒（一）、目黒（奈） 体験：相模原市役所から宮野、原田、井上、市民から中山（実）、中山（朝）			計23名
活動内容	森づくりと保全活動			
使用道具	－			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	－		園田、西原、白川、本田	
区域	活動地B・E地区			
作業内容	① 枯損木の伐木、② 林床整理（枯れて落下した枝の整理）			



次回の予定 定例活動

1月25日（水） 除伐・林床整理

当面の予定 定例活動

2/4、2/11、2/19、2/22

イベント：

2月19日（日） 市民参加の森づくり「間伐とホダ木作り」

3月4日～5日 大野台公民館祭り

報告事項・トピックス

●いつ雨が降ってもおかしくないような曇り空にも関わらず、多くの参加者があった。相模原市水みどり環境課の宮野課長他2名、市の広報でNPOの活動を知った市民2名の皆さんにも、森で作業をする楽しさを体験していただいた。

●前回選木した危険木26本のうち8本の除伐を行った。ナラ枯れや日陰になり枯れた枯損木で、倒れた際に散策路に達する可能性のある危険木を伐倒した。まず歩行者のリスクを回避するため、倒すことを優先的に行い玉切と枝の整理は後日行う。

●林床にはナラ枯れで立ち枯れた木の枝が多数落下して美観を損ねている。また、夏場の下刈りの支障になるため拾って一か所にまとめて整理した。この作業も草刈り同様に人手と時間がかかる作業だが、片付けた後は森も作業者自身もすがすがしい気持ちになる。